



新・湯治ワークショップ（第75回月例研究会）

■ 主催：特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム

■ 共催：環境省、地域活性学会、一般財団法人日本健康開発財団、特定非営利活動法人日本スパ振興協会
併催 温泉療法医研修会

■ 日時：2017年11月28日(火) 13：30～16：45 （受付1300～）

■ 会場：東京文化会館4階会議室（JR上野駅公園口正面） 定員：70名

■ テーマ：「新・湯治推進プラン」の具体化に向けて

今年7月に環境省の有識者会議がまとめた「自然等の地域資源を活かした温泉地の活性化に向けた提言～『新・湯治－ONSEN stay』の推進」の具体化に向けた議論を行う。

■ 第一部：趣旨説明

テーマ①「新・湯治」の効果の把握について

提言の概要、環境省の取組方針を説明し、提言の柱の一つである「『新・湯治』の効果の把握」についての意見交換を行う。

提言では、「温泉の効能のみならず、温泉地全体での療養効果等を科学的に把握し、その結果を全国的な視点に立って情報発信することが重要である。ここで把握する療養効果等の内容にはストレス軽減やリフレッシュなどの効果も含める」とされており、具体的な取組例として、「環境省が調査フォーマットを提示するなどにより、全国の温泉地と温泉療法医等が連携してデータを蓄積・評価・公開する仕組みづくり」を挙げている。

ここでは、全国統一のフォーマット、データを蓄積・評価・公開する仕組みについて、すでに現場で取組を進めている事例も紹介しながら議論を深める。

司会： 楠本浩史（環境省自然環境局自然環境整備課温泉地保護利用推進室係長）

趣旨説明： 山本麻衣（環境省自然環境局自然環境整備課温泉地保護利用推進室室長）資料①

コーディネーター：早坂信哉（一般財団法人日本健康開発財団温泉医科学研究所所長）

プレゼンター：「三重県における温泉地の療養効果の科学的な把握」 資料②

森康則（三重県保健環境研究所衛生研究課主査研究員）

■ 第二部：テーマ②「新・湯治」の全国展開、PRについて

提言では、「国内外に向けた効果的な情報発信を行い、『新・湯治』を行うための温泉地訪問者数を増加させる」とされている。ここでは、温泉地を盛り上げる仕掛け、広報の方法、「新・湯治」を推進する官民の賛同者の募集・ネットワークづくり等について議論する。

コーディネーター：寺崎竜雄 公益財団法人日本交通公社理事/観光地域研究部部長

プレゼンター：「温泉地の滞在について」内田彩（千葉商科大学）資料③

■ プログラム（予定）

13:00 受付

13:30～15:15 第一部 趣旨説明、

テーマ①「新・湯治」の効果の把握について

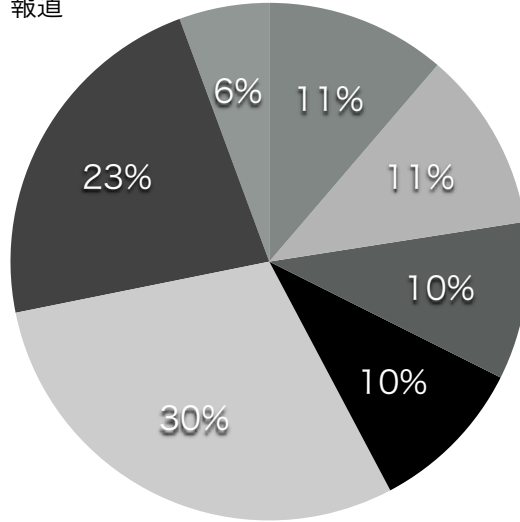
15:15～15:30 休憩

15:30～16:30 第二部

テーマ②「新・湯治」の全国展開、PRについて

16:30～16:45 まとめ・閉会

- 中央官庁
- 医療・医師
- 報道
- 自治体
- 関連団体
- 大学・教育
- 民間



(参考) 「新・湯治ワークショップ
(第75回月例研究会)」参加者割合

